

科目名	地域と企業			ナンバリング	BUS161	授業形態	講義
対象学年	3 年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	山口憲二	担当教員					

授業の概要	本科目の目的は、RESAS(地域経済分析システム)を通じて、地域経済、地域と企業に関する理解を深め、自らのキャリアデザインへの刺激を受けることである。 講義はパソコン教室で主にRESASを用いて行う。地域経済の利用可能なデータを理解し、分析方法を習得する。地域経済課題を分析する中で、関連する企業の事業内容についても学修する。						
到達目標	1. RESASを操作して必要な地域経済情報を収集することができる。 2. RESASを操作して地域の特徴、課題を調べ、報告・発表することができる。 3. RESASを操作して地域の課題を解決するための方向性を提案することができる。 4. 地域経済課題と関連する企業の事業内容について言及することができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	講義とパソコンによる演習を並行して行う。 Excelの基本操作を前提とする。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
		3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
		4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
		5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. RESASを操作して必要な地域経済情報を収集することができる。 2. RESASを操作して地域の特徴、課題を調べ、報告・発表することができる。 3. 地域経済課題と関連する地域企業について概略理解できる。	1. RESASを操作して地域の課題を解決するための方向性を提案することができる。 2. 地域経済課題と関連する地域企業の事業内容について言及することができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○	○		○		60%
宿題・授業外レポート	○		○	○	○		30%
授業態度・授業への参加				○			10%

課題、評価のフィードバック	各自に口頭でコメントする。
---------------	---------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	イントロダクション 授業の目的と問題意識、学修動機の共有 RESASオンライン講座へのサインアップ	RESAS(地域経済分析システム)の意義について理解する。	
	第2回	RESAS入門	RESASの基本操作を修得する。	
	第3回	産業マップ	産業マップの使い方を修得する。	
	第4回	地域経済循環マップ	地域経済循環マップの使い方を修得する。	
	第5回	農林水産業マップ	農林水産業マップの使い方を修得する。	
	第6回	観光マップ	観光マップの使い方を修得する。	
	第7回	人口マップ	人口マップの使い方を修得する。	
	第8回	消費マップ	消費マップの使い方を修得する。	
	第9回	自治体比較マップ	自治体比較マップの使い方を修得する。	
	第10回	地域経済分析－福島県およびいわき市	福島県およびいわき市の経済データを分析する。	
	第11回	前半のまとめとレポート課題の説明	前半のまとめを行い、期末のレポート課題について説明する。	
	第12回	レポート課題の途中経過報告1	各自の途中経過を発表し、教員の指導を受ける。	
	第13回	レポート課題の途中経過報告2	各自の途中経過を発表し、教員の指導を受ける。	
	第14回	レポート課題の途中経過報告3	各自の途中経過を発表し、教員の指導を受ける。	
	第15回	レポートのプレゼンテーション	パワーポイントを使用して1人ずつレポートのプレゼンテーションを行う。	
	試験	定期試験は実施しない。		
授業の進め方		講義とパソコン上でのデータ分析演習		
授業外学習の指示		各自のテーマを決めて、授業時間以外にもレポート作成を行う必要がある。 (授業外学習時間： 毎週 90 分)		

教科書	教科書は使用しない。
参考書	
参考URLなど	RESASオンライン講座 https://e-learning.resas-portal.go.jp/lp/
その他	